

貸借対照表

(2020年3月31現在)

(単位：円)

勘定科目	金額	勘定科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	1,902,803,508	流動負債	1,795,739,501
現金及び預金	1,123,276	買掛金	1,415,818,664
売掛金	512,052,567	未払金	148,051,429
商品及び製品	291,759,062	未払費用	39,971,315
仕掛品	253,896,591	未払消費税等	35,728,100
原材料及び貯蔵品	588,607,382	未払法人税等	5,835,563
前払費用	5,606,134	預り金	32,319,278
関係会社貸付金	246,774,797	賞与引当金	73,064,900
未収入金	2,476,861	製品保証引当金	44,950,252
立替金	446,838	固定負債	10,180,000
仮払金	60,000	退職給付引当金	10,180,000
固定資産	200,582,343	負債合計	1,805,919,501
有形固定資産	98,676,693	(純資産の部)	
建物	4,899,823	株主資本	297,466,350
機械及び装置	50,577,960	資本金	98,000,000
車輦運搬具	8	資本剰余金	100,000,000
工具・器具・備品	38,298,902	資本準備金	100,000,000
建設仮勘定	4,900,000	利益剰余金	99,466,350
無形固定資産	1,146,241	その他利益剰余金	99,466,350
ソフトウェア	1,146,241	繰越利益剰余金	99,466,350
投資その他の資産	100,759,409		
繰延税金資産	100,453,679		
差入保証金	20,000		
敷金	274,000		
長期預託金	11,730		
		純資産合計	297,466,350
資産合計	2,103,385,851	負債及び純資産合計	2,103,385,851

個別注記表

I.重要な会計方針

1.資産の評価基準及び評価方法

(1) たな卸資産

① 製品及び仕掛品：総平均法による原価法

(貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定)

② 商品及び原材料：移動平均法による原価法

(貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定)

③ 貯蔵品：最終仕入原価法による原価法

(貸借対照表価格は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定)

2.固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産（リース資産を除く）

定率法(ただし、1998年4月1日以降に取得した建物(附属設備を除く。)、2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物は定額法)を採用しております。

(2) 無形固定資産（リース資産を除く）

定額法を採用しております。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づいております。

3.引当金の計上基準

(1) 賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

(2) 製品保証引当金

保証期間内に発生する無償修理に対する支出に備えるため、無償修理費の見積額を計上しております。

(3) 退職給付引当金

地域職種限定社員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務に基づき計上しております。

4. その他計算書類作成のための重要な事項

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式によっております。

(2) 連結納税制度の適用

連結納税制度を適用しております。

II. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 株式の状況

当事業年度の末日における発行済株式の総数 1,960 株

(2) 配当に関する事項

当事業年度中に行った剰余金の配当に関する事項(3月)

株式の種類	普通株式
配当の原資	利益剰余金
配当金の総額	98,000 千円
1株当たり配当額	50,000 円
基準日	2019年3月31日
効力発生日	2020年3月17日